



湖南省議会議員

9月議会報告書

№.45

赤祖父ゆみ

2014年10月



TEL/FAX 0748-77-5437

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。

[発行責任者:赤祖父ゆみ]

アドレス:pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eonet.ne.jp

ホームページ:<http://akasofu-yumi.net/>



木々の葉が、少しずつ紅に色づきはじめ、朝晩、風が冷たく感じられる季節となりました。皆様は、お変わりなくお過ごしでしょうか。

湖南省が誕生して早や10年を迎えました。道路網の整備を始め、新しいエネルギー施策への転換、市民協働のしくみとなるまちづくり協議会組織の推進など、湖南省は、発想の転換によって、まちが動き始めています。

平成15年から旧石部町議会議員として、1年1カ月。湖南省になって10年。思い起こせばさまざまな事が思い出されます。一般質問は43回、会派代表質問と、1度も休むことなく、市民の方々にお聞きしたご意見を質問や提案させていただ

いてきました。こにゃんバス、さくら教室、防災減災についての取り組み、コミュニティスクール、子どもへの虐待などなど・・・市も真摯に受け止めてくださり、可能なところから少しずつ前へ進めていただきました。

議会も初めのころに比べると、大きく変わりました。議会基本条例を制定し、議会報告会を議員全員で開催。議員定数は36人から18人になりました。そして、若い方々にも立候補してもらえるように、低かった議員報酬が改善され、年齢層に幅を持った議論ができるようになりました。PDCAサイクルを第一に考えた予算や決算の常任委員会の設置。今議会では3つの常任委員会で事業評価を行っています。産業経済常任委員会では、道路事業、公園維持管理事業、観光推進対策事業をあげました。今後来年度予算に反映してもらうため、市長に対し提言書を提出する予定です。更に、タブレット端末の導入など、改革を進めて行きます。

固定概念にとらわれることなく、変わっていける行政・議会を目指しこれからも邁進してまいります。これから人口減少、少子高齢化社会を迎えます。まちづくりのためにいかに若い人たちに参加していただくかが大きな課題です。そのためには、情報を発信、啓発をし続け、より理解してもらえるよう、この議会報告書をはじめとして、ホームページやフェイスブックなどでも引き続き情報をお伝えしていきます。何のために、誰のために・・・大切さが伝わった時、必ず若い彼らも動いてくれるものと信じています。皆さんで「きらめく湖南省」をつくっていきましょう。

今日よりも明日が輝いていけるように・・・

赤祖父裕美

9月議会定例会

平成 25 年度一般会計決算認定

アベノミクスの経済効果として、地方への波及効果は感じられず、歳入の根幹である市税は、ほぼ昨年並みにとどまっています。一番の問題点は、経常収支比率が年々上昇している事であり、財政の硬直化が進んでいます。この数値を改善させるには、物件費や補助費の経常的経費の抑制、公債費の平準化と歳入をいかに増やしていくかの方法しかありません。今後は弾力性のある財政力が求められています。そのためには、効率のいい適切な職員配置が求められ、早急に定数管理計画を前に進め、仕事のバランスをはかりながら、臨時職員を増やすばかりでなく、正職員の配置が必要と考えます。指定管理制度を導入していくについても、今後、物件費がますます上昇する可能性があり、慎重に執行していかななくてはなりません。平成 27 年度からは、合併特例の優遇措置が少なくなり、財政的に大変厳しくなってきます。今後、公会計システムを導入し、中長期財政計画や公共施設維持管理計画を策定しながら、計画的に事業執行にあたっていく必要があります。行政だけでは市民ニーズに応えられない分は、まちづくり協議会を核として、市民全体を巻き込んだ協力体制が求められてきます。その進め方については、市の指針をしっかり伝えていくことも大切であると思います。スクラップアンドビルドしながら、有効に効率的な事業展開を強く望むとともに、前年度に比べて、繰越明許費が多い事を指摘して、平成 25 年度一般会計決算審議は認定としました。

国民健康保険特別会計決算認定

被保険者数は前年より 244 人減り湖南省人口に占める割合は 25%です。国保会計の健全化計画で、保険税を見直してきました。高齢化や、低所得者の加入率が高く医療費の動向が予測しにくい厳しい会計です。

1 カ月の医療費は、約 2 億 5000 万円。今後は国保連合会のデータをもとに、疾病の原因や傾向分析が重要となります。そして、なんとといっても、病気にならない予防策に重点をおき、早期発見、早期治療に努めることを引き続きお願いしました。現年度は医療費の伸びが約 1%に留まり、黒字の実質収支を確保しました。今後、一般会計からの法定外繰り入れの 3%を下げていく考えで、広域化については、慎重に対処するよう付け加えて認定としました。

国民健康保険診療所特別会計決算認定

患者数は約 5000 人と激減しました。皮膚科と眼科は採算がとれています。今後、運営については毎年約 7 千万円の繰入金が必要となりますが、国民健康保険の診療所として、地域包括ケアシステムを構築していくために、維持していく方向です。認定としました。

公共施設の使用料の一部改正する条例

施設使用料適正化指針に基づき、3 年に 1 度見直しを行うこととしており、受益者負担の原則により、利用者から等しく負担を求めるものです。今回の見直しによって、安くなる施設、高くなる施設さまざまですが、他市の同等施設の使用料などを調査し、減免基準もあることから、やむを得ないという判断に至り、賛成をしました。

訂正とお詫び



前回No.44 議会報告書にて、石部公共サービス(株)の経営状況の質疑報告の記事で、「人員整理」といった誤解をまねく表現がありました。「経営努力」の意味でお伝えしたつもりでしたが、関係各位に大変ご迷惑をお掛けいたしました。

ここに、重ねてお詫び申し上げます。



一般質問

子育て環境の充実を目指した
取り組みについて！

問 国では、人口減少問題が深刻化し、生涯未婚率は男性で、20.14%。5人に1人が結婚していない現状です。また、子育ての不安から4人に1人が「子供は欲しくない」と答えています。なんらかの施策が必要と考えますが、湖南省の子育て支援策とその重要性の考え方を問います。

答 子ども子育て支援事業計画におけるニーズ調査からも50%のご家庭でなんらかの悩みを抱えているといったデータ結果が出ています。子どもたち一人ひとりの発達に応じた適切な関わりや、質の高い教育・保育、子育て支援の安定的な提供を通じて、子どもの健やかな発達を保障していきたいと考えています。その点では、幼保連携型認定子ども園の普及を推進し、保護者の就労や生活状況に左右されることなく、児童が安定して教育・保育を受けられるよう取り組んでいきたいと考えています。

問 保育士の確保の観点からも、働きやすい環境整備は重要であり、1歳・2歳児保育の1:6対応は、大変厳しいものがあると考えます。見直しが必要ではないですか。

答 現在湖南省では、国の基準に従い配置をしています。子ども子育て未来会議の中でも保育士の配置比率や、保育士不足に対する課題についてご指摘いただいています。保育士の配置比率を引き上げることで、児童の受け入れに制限がかかる恐れがあることから、「質の確保」と「量の確保」のバランスを考えた上で実施していく必要があると考えています。

問 地域型保育の導入予定とメリットは大規模な施設整備を伴わないことから、限られた空間で保育が実施でき、甲西中・甲西北中学校校区で考えています。

使いやすさを重視した施設利用

問 近年異常的な天気が続き、夏の暑さは尋常ではありません。7月20日、ソフトバレーボールカーニバルが甲西総合体育館で開催されましたが、息苦しくなるほどの暑さでした。他市では扇風機を置いて風を回すなど工夫しています。暑さ対策についてお聞きします。

答 湖南省においては、空調の設置されている体育館はありません。水分補給や適切な休憩をとるなど、熱中症対策の啓発を積極的に行っています。

問 グランドゴルフを楽しまれる人口は急激に伸びています。夏場は日が長く、涼しくなった夕方5時以降に利用したいと言った声を聞いています。条例を変更してはどうですか。

答 条例を変更する前に、利用実態を把握する必要があります。まずは自主事業により、試行的な取り組みができないか、指定管理者に働きかけています。利用状況を踏まえ今後検討していきます。

問 利用料金制度のメリットとデメリット
答 メリットとしては、経営努力次第でより多くの収益がうまれます。デメリットとしては、指定管理料から減額した形で制度を導入するために、期待した利用料金収入がない場合には、経費不足が生じてくることが考えられます。

橋梁の安全性について

問 先の大雨で、多くの地域で土石流が発生し、甚大な被害をもたらしました。今後橋梁の点検計画について

答 平成25年6月に公布された道路法等の一部を改正する法律において、予防保全の観点を踏まえて道路や橋梁の点検を行う事が明確化され、5年に1回の頻度で近接目視により点検を行う事が規定されました。老朽度・緊急度の観点から、整備する橋梁は、山喜橋、大山川橋、平松竜頭線の橋梁、岩根大谷線の橋梁となっています。

産業経済常任委員会報告

閉会中の調査報告

7月30日(水)

- ①内陸型国際総合物流ターミナル構想の概要について
- ②湖南省物産館の計画概要について
- ③イオンタウンの状況報告
- ④現地踏査(田舎の元気や in 栗東)

内陸型国際物流ターミナルについて、説明を受けた。湖南省が進めようとしているのは内陸型で、阪神港が滋賀県の東部地域に物流センターを設けたいと考えていることを受けて、研究に取り組んでいる。効率化を図ったうえで、地域経済の発展に繋がりたい。10月、阪神港に視察研修を予定しており、今後研究を進めていきます。

イオンタウンの中に、湖南省物産館が併設されます。イオンタウンオープンは12月上旬。現在順調に進んでいます。物産館のオープンは来年度中開設の予定。現在策定委員会を立ち上げレイアウト案を議論しています。私たち委員会も、「田舎の元気や」に現地踏査しながら、お米の美味しいおにぎりや、新鮮な野菜の購入できるお店を提案していきます。10月の研修でも道の駅機能も兼ね備えた施設の視察をしてきます。



議会報告会開催します!!

「市民と議会のまちづくりトーク」

11月10日(月) 19:00~

サンヒルズ甲西

11月11日(火) 19:00~

石部まちづくりセンター

11月17日(月) 19:00~

みくも地域人権福祉市民交流センター

11月18日(火) 19:00~

菩提寺まちづくりセンター

皆さんのお越しをおまちしています!

7月

- 26日 女性の会研修 in 沖島
- 29日 野洲川改修促進協議会

8月

- 2日 平和の集い
- 4~5日 第2回市町村議会議員特別セミナー
- 12日 栗東湖南広域行政協議会
- 19日 決算常任委員会
- 20日 すまいり一事業 in 石部南
- 21日 会派代表者会議
- 22日 すまいり一事業 in 水戸
- 23日 宮の森・柑子袋・東寺夏祭り
- 24日 石部西・石部東夏祭り
- 25日 公立甲賀病院研修会
- 27日 産業経済常任委員会
- 28日 もみじあざみ納涼祭
- 29日 子ども子育て未来会議傍聴

9月

- 31日 青少年夏休みコンサート
- 1日 第22期さくら教室開級式
- 2~25日 9月議会定例会
- 14日 連合滋賀4区地域協議会研修
- 21日 湖南省ふれあいバレーボール大会
- 27日 阿星保育園運動会
- 28日 スポーツカーニバル
- 29~30日 全国地婦連協議会近畿ブロック会議

10月

- 1日 産業経済常任委員会評価会
- 6~7日 宝寿会旅行 in 今津
- 8日 甲賀広域行政組合議会
- 10日 公共施設マネジメント in 博多
- 11日 石部南小学校運動会
- 12日 湖南省総合防災訓練



8/1 湖南省夏祭り



8/24 宝来坂夏祭り



9/15 宝来坂敬愛のつどい



8/18 野洲川改修知事要望



9/13 石部中学校運動会



10/4 市制10周年記念式